

これは価値あり！ バケット型おが屑投入機

新鮮な敷き料を高い頻度で ベッドにいれる

多くのフリーストール酪農家は週に1回程度の頻度でベッド前方突き出しスペースにおが屑を大量に投入し、以後は逐次そこから適量をベッド後方へとかき出す方法をおこなっているようですが、この方法ではおが屑が牛のヨダレ等で汚れたり、牛舎内は外よりも湿度が高い傾向にあるなど、細菌繁殖を助長させる可能性があり乳房炎リスクを高めます。

この機械はトラクターにとりつけられるバケット型おが屑投入機で「すくって、運んで、撒く」を1台でおこなえるので、新鮮な敷き料を高い頻度でベッドに入れることが容易になります。

おが屑と消石灰との混合も 容易におこなえる

おが屑と消石灰を同時にすくって吐き出す作業を数回おこなうことで、おが屑と消石灰とを混ぜ合わせる作業も容易におこなうことができます。

価格は100～150万円だったと思います。

これから乳房炎の増える季節になります。
大腸菌性乳房炎でダメになる牛が数頭減れば容易に元が取れるはずです。

